

一般社団法人 日本応用数理学会

2025（令和 7）年度定時社員総会

日時：2025（令和 7）年 6 月 27 日（金）16:00 ～ 17:30

会場：国際文献社アカデミーセンター会議室（東京都新宿区山吹町）およびオンライン

議事：

- 第 1 号議案
2024（令和 6）年度事業報告の件 [1～4 頁]
- 第 2 号議案
2024（令和 6）年度決算の件 [5 頁～17 頁]
2024（令和 6）年度監査報告の件 [18 頁～21 頁]
- 第 3 号議案 役員選任の件
（報告事項：選挙結果，任期満了）
理事候補者
石田祥子，磯島伸，伊藤聡，内山成憲，河合孝純，齊木吉隆，
佐藤一誠，辻本諭，奈良高明，畑宏明，降旗大介
監事候補者
成島康史
- 第 4 号議案
2025（令和 7）年度事業計画の件[22 頁]
- 第 5 号議案
2025（令和 7）年度予算の件 [23 頁～25 頁]

終了後：

新フェロー任命式

2024 年度業績賞報告

第 21 回若手優秀講演賞表彰式

第 21 回研究部会連合発表会優秀講演賞表彰式

2025 年 5 月 23 日 理事会

一般社団法人日本応用数理学会 2024（令和 6）年度事業報告

本学会は 2024（令和 6）年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）下記のとおり事業を行った。

1. 学会誌「応用数理」の刊行

34 巻 2 号（6 月）、3 号（9 月）、4 号（12 月）、35 巻 1 号（3 月）の 4 号を発刊した。

34 巻（1～4 号）の総頁数 385 頁 [232]

34 巻 1 号から、各記事の執筆者に原稿料の支払いを開始した。

2. JSIAM Online Magazine の編集・公開

JOM の今後について https://jsiam.org/online_magazine/note/6525/

3. 論文誌「日本応用数理学会論文誌」の刊行

34 巻 2 号（6 月）、3 号（9 月）、4 号（12 月）、35 巻 1 号（3 月）の 4 号を電子版として J-Stage で公開した。34 巻（1～4 号）の総頁数 159 頁 [177]

4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集（年 3 回発刊）

5. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行

Volume 16（25 篇）、Volume 17（6 篇）を J-Stage で公開した。

6. 出版

シリーズ応用数理の続巻の企画を検討した。

7. 年会の開催

2024 年 9 月 14 日～16 日に対面（実行委員会:京都大学）で第 33 回年会を開催し、599[637] の参加を得て盛会裡に終了した。（総合講演 2 件[2]、オーガナイズドセッションおよび一般講演 335 件[339]、ポスター発表 33 [16]、計 368 件[355]）

男女共同参画の推進のため、日本応用数理学会で初めて学会参加者向けの託児室を設置した。

なお、ここでの括弧内の数字は、一昨年の数字である。（昨年は ICIAM2023 により年会が開催されなかったため。）

8. 研究部会の活動（次頁の研究部会一覧を参照）

（ア）今年度は 24 研究部会の活動推進が行われた。

（イ）2025 年 3 月 5 日～7 日に対面形式（実行委員会：岡山大学、位相的データ解析研究部会）で研究部会連合発表会を開催し、374 名[399]の参加を得て盛会裡に終了した。（講演 173 件[190]）

- (ウ) 研究部会活動報告を学会ウェブで公開した。
- (エ) 4月より「非線形問題の高性能解法と可視化技術に関する研究部会」が研究部会として活動を開始した。

9. 各種委員会活動の推進

国際活動委員会、ネットワーク委員会、総務委員会等の諸活動が精力的に進められた。

10. 海外の応用数理学会との交流

- (ア) 台湾(TWSIAM) (MOU 締結など)
- (イ) 韓国(KSIAM)
- (ウ) オーストラリア (ANZIAM)
- (エ) フィンランド
- (オ) International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)のメンバー学会である。特に、ICIAM の公式ウェブサイト <https://iciam.org/> を運用している。
- (カ) オーストラリア数学会(AustMS)、 SIAM とは相互協定を締結している。

11. 他学会等との交流

- (ア) 日本数学会、統計関連学会連合とは懇談会を開催し、様々な活動で連携している。また、数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会を共同で開催している。
- (イ) 日本シミュレーション学会、日本計算工学会とは密接な情報交換を行った。
- (ウ) 横断型基幹科学技術研究団体連合、学術会議計算力学小委員会、日本計算力学連合(JACM)、HPCI コンソーシアム、男女共同参画協会連絡会、理論応用力学コンソーシアムのメンバー学会である。

12. 会員・賛助会員の現状 (2025 年 3 月 31 日現在)

会員数は 1,509 名[1,440]になった。

(入会 150 名 (正 73、学 76、賛 1)、退会 84 名 (退会は、会員資格喪失者を含む))

賛助会員は 20 社 [22] 37 口 [40]となった。(入会 1、退会 3、口数変更 0)

個人賛助会員は、1 名[1]である。

名誉会員は 16 名[11]となった。

13. 表彰

- (ア) 論文賞 (論文誌、JSIAM Letters、JJIAM) 6 件[6]を表彰した。
- (イ) ベストオーサー賞 (学会誌) 2 件[2]を表彰した。
- (ウ) 年会若手優秀講演賞 5 件[0]を表彰した。
- (エ) 年会優秀ポスター賞 3 件 (最優秀賞 1 件含む) [0]を表彰した。
- (オ) 研究部会連合発表会優秀講演賞 3 件[3]を表彰した。
- (カ) 第 18 期フェロー 5 名を任命した。
- (キ) 業績賞理論分野 0 件[1]、応用分野 1 件[0]を選考した。

14. 若手層・女性研究者との連携強化

- (ア) NPO 法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクトが主催する「女子中高生夏の学校」が対面開催され、JSIAM 理事および元理事が実行委員およびポスター展示・キャリア相談担当として参加した。
- (イ) 2023 年 11 月より 1 年間、男女共同参画学協会連絡会の幹事学会を務めた。とくに「第 22 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム」を企画運営した。
- (ウ) 「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野異業種研究交流会 2024」を日本数学会、統計関連学会連合と共催した。

15. 産業界・社会との交流促進

応用数理ものづくり研究会技術セミナー（10 回講演、パネルディスカッション 1 回、懇談会 1 回を含む）を開催し 17 社[16]の参加を得た。

16. 協賛等

外部学協会等と 32 件[41]の協力関係を結んだ。

17. その他

- (ア) 稲盛財団からの寄附金により、国際的に活動する女性研究者を支援するために、稲盛財団基金積立金を設立し運用している。具体的には、ICIAM における Olga Taussky-Todd Lecture の支援にあてる。
- (イ) 理事会の開催されない月に理事連絡会を開催した。

備考：[]は、2023 年度実績

日本応用数理学会 研究部会一覧

「ウェーブレット」研究部会
「応用カオス」研究部会
「応用可積分系」研究部会
「折紙工学」研究部会
「科学技術計算と数値解析」研究部会
「機械学習」研究部会
「行列・固有値問題の解法とその応用」研究部会
「計算の品質」研究部会
「産業における応用数理」研究部会
「数理医学」研究部会
「数理政治学」研究部会
「数理設計」研究部会
「数理的技法による情報セキュリティ」研究部会
「数理ファイナンス」研究部会

「数論アルゴリズムとその応用」研究部会
「CAEモデリングとデータ活用」研究部会
「離散システム」研究部会
「連続体力学の数理」研究部会
「若手の会」研究部会
「環瀬戸内応用数理」研究部会（地域研究部会）
「幾何学的形状生成」研究部会
「位相的データ解析」研究部会
「連続最適化」研究部会
「非線形問題の数値解法と可視化技術」研究部会

以上

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,074,427	30,341,564	3,732,863
未収金	4,265,000	4,071,330	193,670
前払金	158,730	170,940	△ 12,210
流動資産合計	38,498,157	34,583,834	3,914,323
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
固定資産合計	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	58,498,157	54,583,834	3,914,323
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,239,563	262,021	3,977,542
前受会費	7,221,000	7,202,000	19,000
預り金	24,435	31,251	△ 6,816
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	11,554,998	7,565,272	3,989,726
負債合計	11,554,998	7,565,272	3,989,726
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	46,943,159	47,018,562	△ 75,403
正味財産合計	46,943,159	47,018,562	△ 75,403
負債及び正味財産合計	58,498,157	54,583,834	3,914,323

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
一般会計

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	94,000	40,000	54,000
正会員	36,000	28,000	8,000
学生会員	58,000	12,000	46,000
受取会費	18,285,750	17,676,250	609,500
正会員	15,669,750	15,053,250	616,500
学生会員	753,500	610,500	143,000
賛助会員	1,862,500	2,012,500	△ 150,000
事業収益	7,623,659	3,110,689	4,512,970
応用数理広告料	0	65,000	△ 65,000
応用数理定期購読料	242,385	263,120	△ 20,735
論文誌掲載料	320,000	400,000	△ 80,000
年会収益	4,505,000	0	4,505,000
セミナー収益	445,000	385,000	60,000
研究部会収益	1,701,000	1,442,064	258,936
著作権料収益	410,274	555,505	△ 145,231
雑収益	41,659	100,552	△ 58,893
経常収益計	26,045,068	20,927,491	5,117,577
(2) 経常費用			
事業費	17,024,791	9,490,351	7,534,440
応用数理刊行事業費	6,670,886	5,122,001	1,548,885
委託費	2,475,055	2,151,765	323,290
会議費	17,000	14,000	3,000
印刷製本費	3,499,487	2,471,340	1,028,147
諸謝金	679,344	484,896	194,448
論文誌刊行事業費	398,613	363,178	35,435
委託費	398,613	363,178	35,435
JSIAM-Letters刊行事業費	1,215,170	1,178,100	37,070
委託費	1,215,170	1,178,100	37,070
JSIAMOnlineMagazine刊行事業費	65,120	763,846	△ 698,726
委託費	65,120	691,462	△ 626,342
諸謝金	0	72,384	△ 72,384
年会事業費	6,333,708	0	6,333,708
人件費	355,090	0	355,090
委託費	2,462,405	0	2,462,405
会議費	1,942,438	0	1,942,438
通信運搬費	1,650	0	1,650
賃借料	1,293,016	0	1,293,016
雑費	279,109	0	279,109
セミナー事業費	200,274	87,959	112,315
旅費交通費	2,227	0	2,227
賃借料	74,000	0	74,000
諸謝金	122,507	87,959	34,548
雑費	1,540	0	1,540
研究部会事業費	2,141,020	1,975,267	165,753
人件費	201,873	305,280	△ 103,407
委託費	1,243,798	1,277,880	△ 34,082
会議費	63,995	41,892	22,103
旅費交通費	0	19,111	△ 19,111

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
賃借料	364,400	121,356	243,044
諸謝金	152,524	72,390	80,134
雑費	114,430	137,358	△ 22,928
管理費	9,095,680	9,315,808	△ 220,128
JJIAM購入費	198,000	198,000	0
活動促進費	188,935	98,266	90,669
関連団体等会費	308,992	192,319	116,673
保守費	1,879,706	1,577,081	302,625
事務委託費	5,802,295	6,302,155	△ 499,860
委託費	4,269,130	3,955,418	313,712
印刷製本費	96,892	106,854	△ 9,962
通信運搬費	793,846	705,773	88,073
消耗品費	46,447	25,460	20,987
HP関係費	595,980	1,508,650	△ 912,670
会議費	213,585	408,871	△ 195,286
雑費	288,207	320,532	△ 32,325
法人関連経費	215,960	218,584	△ 2,624
経常費用計	26,120,471	18,806,159	7,314,312
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 75,403	2,121,332	△ 2,196,735
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 75,403	2,121,332	△ 2,196,735
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 75,403	2,121,332	△ 2,196,735
一般正味財産期首残高	47,018,562	44,897,230	2,121,332
一般正味財産期末残高	46,943,159	47,018,562	△ 75,403
Ⅱ 正味財産期末残高	46,943,159	47,018,562	△ 75,403

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
一般会計

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	60,000	94,000	△ 34,000
正会員	36,000	36,000	0
学生会員	24,000	58,000	△ 34,000
受取会費	16,893,750	18,285,750	△ 1,392,000
正会員	14,427,750	15,669,750	△ 1,242,000
学生会員	616,000	753,500	△ 137,500
賛助会員	1,850,000	1,862,500	△ 12,500
事業収益	5,595,000	7,623,659	△ 2,028,659
応用数理広告料	75,000	0	75,000
応用数理定期購読料	240,000	242,385	△ 2,385
論文誌掲載料	320,000	320,000	0
年会収益	2,500,000	4,505,000	△ 2,005,000
セミナー収益	460,000	445,000	15,000
研究部会収益	1,500,000	1,701,000	△ 201,000
著作権料収益	500,000	410,274	89,726
雑収益	1,000	41,659	△ 40,659
経常収益計	22,549,750	26,045,068	△ 3,495,318
(2) 経常費用			
事業費	13,286,000	17,024,791	△ 3,738,791
応用数理刊行事業費	5,020,000	6,670,886	△ 1,650,886
委託費	2,200,000	2,475,055	△ 275,055
会議費	20,000	17,000	3,000
印刷製本費	2,300,000	3,499,487	△ 1,199,487
諸謝金	500,000	679,344	△ 179,344
論文誌刊行事業費	400,000	398,613	1,387
委託費	400,000	398,613	1,387
JSIAM-Letters刊行事業費	1,166,000	1,215,170	△ 49,170
委託費	1,166,000	1,215,170	△ 49,170
JSIAMOnlineMagazine刊行事業費	1,000,000	65,120	934,880
委託費	900,000	65,120	834,880
諸謝金	100,000	0	100,000
年会事業費	3,500,000	6,333,708	△ 2,833,708
人件費	3,500,000	355,090	3,144,910
委託費	0	2,462,405	△ 2,462,405
会議費	0	1,942,438	△ 1,942,438
通信運搬費	0	1,650	△ 1,650
賃借料	0	1,293,016	△ 1,293,016
雑費	0	279,109	△ 279,109
セミナー事業費	200,000	200,274	△ 274
旅費交通費	200,000	2,227	197,773
賃借料	0	74,000	△ 74,000
諸謝金	0	122,507	△ 122,507
雑費	0	1,540	△ 1,540
研究部会事業費	2,000,000	2,141,020	△ 141,020
人件費	2,000,000	201,873	1,798,127
委託費	0	1,243,798	△ 1,243,798
会議費	0	63,995	△ 63,995
賃借料	0	364,400	△ 364,400

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
諸謝金	0	152,524	△ 152,524
雑費	0	114,430	△ 114,430
管理費	8,675,000	9,095,680	△ 420,680
JJIAM購入費	300,000	198,000	102,000
活動促進費	100,000	188,935	△ 88,935
関連団体等会費	190,000	308,992	△ 118,992
保守費	1,550,000	1,879,706	△ 329,706
事務委託費	5,735,000	5,802,295	△ 67,295
委託費	4,220,000	4,269,130	△ 49,130
印刷製本費	115,000	96,892	18,108
通信運搬費	750,000	793,846	△ 43,846
消耗品費	50,000	46,447	3,553
HP関係費	600,000	595,980	4,020
会議費	250,000	213,585	36,415
雑費	300,000	288,207	11,793
法人関連経費	250,000	215,960	34,040
経常費用計	21,961,000	26,120,471	△ 4,159,471
評価損益等調整前当期経常増減額	588,750	△ 75,403	664,153
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	588,750	△ 75,403	664,153
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	588,750	△ 75,403	664,153
一般正味財産期首残高	47,018,562	47,018,562	0
一般正味財産期末残高	47,607,312	46,943,159	664,153
Ⅱ 正味財産期末残高	47,607,312	46,943,159	664,153

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預金現金	普通預金	運転資金として	28,400,148
		みずほ銀行根津支店(普)／1140839		10,576,312
		みずほ銀行麹町支店(普)／1282010		17,401,446
		三菱UFJ銀行(普)／0424593		240,142
		三井住友銀行(普)／2969442		182,248
	未収金	郵便振替	運転資金として	5,674,279
		会費用		5,674,279
				4,265,000
前払金		会費収入(クレジット決済分)	2,524,000	
		研究部会参加費(クレジット決済分)	1,701,000	
		論文誌別刷	40,000	
		slack使用料	158,730	
流動資産合計				38,498,157
(固定資産) 基本財産	基本財産			
				20,000,000
		三菱UFJ銀行(定)／0036919		10,000,000
		三井住友銀行(定)／00692621		10,000,000
固定資産合計				20,000,000
資産合計				58,498,157
(流動負債)	未払金			4,239,563
		Google、Amazon等	システム月額使用料(クレジット決済分)	170,527
		想隆社	WEBサイト保守費等	51,480
		三秀舎	論文誌35巻1号J-STAGEアップロード費	8,800
		科学技術振興機構	J-STAGE投稿審査システム利用料	66,000
		国際文献社	1-3月分業務委託費等	749,698
		国際文献社	選挙業務委託費	201,300
		国際文献社	学会誌35巻1号印刷費等	1,516,617
		国際文献社	第21回研究部会連合発表会委託費	1,328,848
			学会誌35巻1号原稿料	105,000
	前受会費		第21回研究部会連合発表会経費立替	31,833
			研究部会経費	9,460
			翌事業年度以降会費	7,221,000
		正会員		6,238,500
		正会員(シニア)		488,500
		学生会員		294,000
		賛助会員(法人)		200,000
		預り金	源泉徴収税	24,435
		未払法人税等	2024年度法人税	70,000
流動負債合計				11,554,998
負債合計				11,554,998
正味財産				46,943,159

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会
国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
未収金	0	730,000	△ 730,000
その他	0	730,000	△ 730,000
流動資産合計			
2. 固定資産			
(1) 特定資産	11,809,763	1,399,200	10,410,563
特定資産	11,809,763	1,399,200	10,410,563
特定資産合計	11,809,763	1,399,200	10,410,563
固定資産合計	11,809,763	2,129,200	9,680,563
資産合計			
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	1,672,845	△ 1,672,845
流動負債合計	0	1,672,845	△ 1,672,845
負債合計	0	1,672,845	△ 1,672,845
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	11,809,763	456,355	11,353,408
正味財産合計	11,809,763	456,355	11,353,408
負債及び正味財産合計	11,809,763	2,129,200	9,680,563

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	13,806,216	239,926,736	△ 226,120,520
国際交流事業収	13,806,216	239,926,736	△ 226,120,520
雑収益	5,343	0	5,343
経常収益計	13,811,559	239,926,736	△ 226,115,177
(2) 経常費用			
事業費	2,458,151	246,970,334	△ 244,512,183
国際交流事業費	2,458,151	246,970,334	△ 244,512,183
人件費	0	23,614,988	△ 23,614,988
福利厚生費	0	1,459,270	△ 1,459,270
委託費	2,126,008	133,084,639	△ 130,958,631
会議費	0	27,006,391	△ 27,006,391
旅費交通費	319,841	2,019,662	△ 1,699,821
印刷製本費	0	1,002,342	△ 1,002,342
通信運搬費	0	4,432,830	△ 4,432,830
什器備品費	0	17,953,546	△ 17,953,546
消耗品費	0	3,708,176	△ 3,708,176
諸謝金	0	4,571,475	△ 4,571,475
広告宣伝費	0	13,348,135	△ 13,348,135
表彰関係費	0	667,650	△ 667,650
支払寄付金	0	204,500	△ 204,500
雑費	12,302	13,896,730	△ 13,884,428
経常費用計	2,458,151	246,970,334	△ 244,512,183
評価損益等調整前当期経常増減額	11,353,408	△ 7,043,598	18,397,006
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,353,408	△ 7,043,598	18,397,006
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	11,353,408	△ 7,043,598	18,397,006
一般正味財産期首残高	456,355	7,499,953	△ 7,043,598
一般正味財産期末残高	11,809,763	456,355	11,353,408
II 正味財産期末残高	11,809,763	456,355	11,353,408

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	0	13,806,216	△ 13,806,216
国際交流事業収	0	13,806,216	△ 13,806,216
雑収益	100	5,343	△ 5,243
経常収益計	100	13,811,559	△ 13,811,459
(2) 経常費用			
事業費	0	2,458,151	△ 2,458,151
国際交流事業費	0	2,458,151	△ 2,458,151
委託費	0	2,126,008	△ 2,126,008
旅費交通費	0	319,841	△ 319,841
雑費	0	12,302	△ 12,302
経常費用計	0	2,458,151	△ 2,458,151
評価損益等調整前当期経常増減額	100	11,353,408	△ 11,353,308
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	100	11,353,408	△ 11,353,308
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	100	11,353,408	△ 11,353,308
一般正味財産期首残高	456,355	456,355	0
一般正味財産期末残高	456,455	11,809,763	△ 11,353,308
II 正味財産期末残高	456,455	11,809,763	△ 11,353,308

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会
国際交流事業会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産) 特定資産	特定資産	みずほ銀行(普)／3000023	国際交流事業運営資金として	11,809,763
固定資産合計				11,809,763
資産合計				11,809,763
正味財産				11,809,763

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会
稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産	2,500,817	2,499,650	1,167
特定資産合計	2,500,817	2,499,650	1,167
固定資産合計	2,500,817	2,499,650	1,167
資産合計	2,500,817	2,499,650	1,167
II 正味財産の部			
1. 一般正味財産	2,500,817	2,499,650	1,167
正味財産合計	2,500,817	2,499,650	1,167
負債及び正味財産合計	2,500,817	2,499,650	1,167

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	1,167	27	1,140
経常収益計	1,167	27	1,140
(2) 経常費用			
事業費	0	500,990	△ 500,990
稲盛財団基金事業費	0	500,990	△ 500,990
経常費用計	0	500,990	△ 500,990
評価損益等調整前当期経常増減額	1,167	△ 500,963	502,130
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,167	△ 500,963	502,130
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,167	△ 500,963	502,130
一般正味財産期首残高	2,499,650	3,000,613	△ 500,963
一般正味財産期末残高	2,500,817	2,499,650	1,167
II 正味財産期末残高	2,500,817	2,499,650	1,167

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会
稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	1,167	△ 1,167
経常収益計	0	1,167	△ 1,167
(2) 経常費用			
経常費用計	0	0	0
評価損益等調整前当期経常増減額	0	1,167	△ 1,167
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	1,167	△ 1,167
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	1,167	△ 1,167
一般正味財産期首残高	2,499,650	2,499,650	0
一般正味財産期末残高	2,499,650	2,500,817	△ 1,167
II 正味財産期末残高	2,499,650	2,500,817	△ 1,167

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会
稲盛財団基金会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産)				
特定資産	特定資産	三菱UFJ銀行(普)／0860997	稲盛財団基金運営資金として	2,500,817
				2,500,817
流動負債合計				2,500,817
負債合計				2,500,817
正味財産				2,500,817

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

附属明細書

1. 該当事項なし

一般社団法人 日本応用数理学会
代表理事 速水 謙様

2024 (令和 6) 年度 税務監査報告書

2024 (令和 6) 年度の会計につき税務監査の結果を以下の通りご報告いたします。

年 度：第 13 期、自 2024 (令和 6) 年 4 月 1 日 至 2025 (令和 7) 年 3 月 31 日

実施日：2025 (令和 7) 年 4 月 25 日 (金)

方 法及び確認事項：

原始資料との突合、預貯金残高の検証、帳表類の保管状況の確認、総勘定元帳と決算書の残高の照合、源泉所得税の徴収・納税状況の確認及び資産負債の細目及び内訳の確認など

結 果：領収書や請求書などの原始資料が月別かつ日毎に整理され、日々の金銭による収支は複式簿記により適切に処理されています。

預貯金残高は通帳の金額と合致しており、報酬及び人件費の源泉所得税の徴収及び納付状況も適正です。また、2023 年度の法人住民税の納付がされていることを確認し、2024 年度の法人住民税が 2024 年度において未払計上されていることを確認いたしました。

2024 年度の消費税の課税売上が約 638 万円であることを仕訳データより確認いたしました。

なお、2023 年度の消費税の課税売上が 10,271,910 円であったことから、2025 年度については消費税の課税事業者となります。

また、人件費の源泉所得税の徴収、納付が適切に行われていることを確認致しました。

所 見：

1. 当期の特徴

1. 一般会計

前期と比較した際の当期の会費収入は前期の約 103% (金額にして 61 万年円の増加) となっております。事業収益については、今期は年会収益があったことなどにより、前期と比較して約 450 万円ほど増加しております。

経常費用全体については前期と比較し、約 731 万円ほど増加しております。今期は年会があったことにより、年会事業費が 633 万円ほど増加していること、印刷製本費が増加していることが影響しております。管理費に関しては前期とほぼ同額となっております。

結果、正味財産の増加は約 7.5 万円の減少となっております。

また、予算と実績との比較については経常収益について予算と比較し受取会費、年会収益が増額となっており 349 万円増加しております。

当期の事業費は予算に対して年会事業費が 283 万円増加していることなどから予算と比較し約 415 万円増加しております。

2. 国際交流事業

2023 年度中に金額が確定できなかった入出金について 2024 年度決算へ計上がありました。その他、出張旅費も計上もありました。

今期の経常増減額 11,353,408 円の黒字となっております。

2023 年度の経常増減額は 7,043,598 円の赤字、2022 年度は 4,354,880 円の赤字でしたので 2022 年からの 3 年間の合計では 45,070 円の赤字となっております。

3. 法人税・地方法人税、法人住民税の申告

収益事業がある場合は、収益事業の収支について法人税・地方法人税・法人住民税の申告をする必要があります。学術団体の場合、企業展示や非会員への論文集販売などが該当します。また、年間の収入金額が 8,000 万円を超える場合は一定の計算書類を提出する必要があります。

前期より法人税の申告がございます。収益事業については赤字のため決算における税金については昨年と同様、法人住民税の均等割 7 万円のみとなっております。

法人住民税については、都内に事務所や事業所などがある法人に課税される税金で、「法人税割」と「均等割」からなっています。総務省のHPによれば均等割について『均等割とは読んで字のごとく、法人であれば等しく払う義務のある税金です。「等しい額」といっても世界にも進出している大きな法人と地域密着型の法人とでは、法人の規模が違います。そのため、都道府県民税では法人の資本金等の額で、市町村民税では法人の資本金等の額と従業者数で払う税金の額が分けられています。このように法人の規模に応じて区分けた上で、同一区分内においては同一の額を法人に課しています。

均等割と法人税割の決定的な違いとしては、法人税割は国に法人税を納めている法人、つまり黒字の法人だけが払うのに対して、均等割は赤字の法人も払わなければならないということです。言い換えると、均等割は、法人がどれだけ儲けたかに関係なく、地域社会の一員として支払う会費という性格が強いといえます。』との説明がなされております。

4. 消費税・インボイス制度(適格請求書発行事業者の登録)

2023 年度の課税売上は 1,027 万円となっており国際会議におけるブース展示が課税売上となり約 747 万円あったことが影響しております。消費税の納税義務についてはその課税期間の基準期間(法人は原則として前々事業年度)における課税売上高および特定期間における課税売上高等が 1,000 万円以下の事業者は、課税事業者となることを選

扱った場合や、適格請求書発行事業者として登録を受けている場合を除き、原則として、その課税期間の納税義務が免除されています。従いまして、2025年度は消費税の課税事業者となります。

なお、今期はデータ上課税売上が約638万円でしたので、2026年度は免税事業者となります。

令和5年10月から消費税インボイス制度が導入されております。上記繰り返しとなりますが、免税事業者(基準期間の課税売上高が1,000万円以下の事業者)という扱いがインボイス制度の導入によって廃止されるわけではありませんが、適格請求書発行事業者に登録すると課税売上高の金額の多寡にかかわらず消費税の課税事業者となります。

2024(令和7)年5月13日
東京都千代田区神田小川町3丁目26番8号
AtaGO税理士
担当 税理士 飯塚
TEL03-6803-5

印
影
保
護

印影保護のためフォーマットのみを示します。
実物は、総会当日、共有画面でお見せします

監 査 報 告

2025 年 5 月 13 日

一般社団法人日本応用数理学会

会長 速水 謙 殿

一般社団法人日本応用数理学会

監事 石渡 恵美子 ⑩

監事 花谷 嘉一 ⑩

私たちは、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの会計年度における監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務報告の内容は正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または定款により指摘すべき事項はないと認める。

以上

2024 年 5 月 23 日 理事会

一般社団法人 日本応用数理学会 2025（令和 7）年度事業計画（案）

本学会は 2025（令和 7）年度（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）下記のとおり事業を行う予定である。

1. 会誌「応用数理」の刊行（6 月，9 月，12 月，3 月）
 2. 電子版「日本応用数理学会論文誌」の刊行（6 月，9 月，12 月，3 月）
 3. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集
 4. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
 5. 出版
 - ・シリーズ・応用数理 出版準備
 6. 年会の開催
 - ・9 月 2 日～4 日 東京理科大学
 7. 研究部会の育成促進
 - ・研究部会連合発表会（東京大学）の開催
 8. 各種委員会活動の推進
 9. 国際活動
 - ・International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)への貢献および海外の応用数理関連学会との交流，協力の推進
 - ・JSIAM 年会での国際 OS に向けた準備活動
 - ・稲盛財団基金積立金の適切な運用による，国際的に活動する女性研究者の支援。具体的には，ICIAM2027 における Olga Taussky-Todd Lecture の支援。
 10. 応用数理関連他学会との交流の推進
 11. 会員・賛助会員の増強に向けたサービス向上とコミュニティーの拡大
 12. 表彰
 - フェローの任命，業績賞，論文賞（和文論文誌，JJIAM，JSIAM Letters），学会誌ベストオーサー賞，年会若手優秀講演賞・ポスター賞，研究部会連合発表会優秀講演賞の表彰および各種日本応用数理学会賞等の立ち上げの検討
 13. 若手層・女性研究者の学会参加の促進
 14. 産業界・社会との交流促進と連携強化
 15. 数理科学振興の政策課題の検討
 16. 一般社会への応用数理・数理科学の広報と啓蒙・教育活動
 17. その他
- 以上

収支予算案

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	70,000	60,000	10,000	過年度実績を参考に計上
正会員	40,000	36,000	4,000	正会員入会金：2,000円×20名見込
学生会員	30,000	24,000	6,000	学生会員入会金：1,000円×30名見込
受取会費	17,237,250	16,893,750	343,500	2025年3月12日時点会員数を根拠に計上
正会員	14,666,750	14,427,750	239,000	
				当年度会費：12,500円×(1199名×90%)
正会員	13,800,000	13,550,000	250,000	過年度会費：12,500円×25名見込
				当年度会費：11,000円×(87名×90%)
シニア会員	858,000	869,000	△ 11,000	当年度会費：8,750円×(1名×100%)(30%減免対象)
SIAM会員	8,750	8,750	0	当年度会費：5,500円×(164名×80%)
学生会員	720,500	616,000	104,500	当年度会費：50,000円×(20社37口×100%)
賛助会員	1,850,000	1,850,000	0	
事業収益	7,595,000	5,595,000	2,000,000	
応用数理広告料	75,000	75,000	0	応用数理35巻1-4号分
応用数理定期購読料	240,000	240,000	0	応用数理35巻1-4号分(715円×84件見込×4号分)
論文誌掲載料	320,000	320,000	0	論文誌35巻2-4号・36巻1号分(40,000円×2件見込×4号分)
年会収益	4,500,000	2,500,000	2,000,000	2025年度年会参加費・企業展示等(過年度実績をもとに計上)
セミナー収益	460,000	460,000	0	ものづくり研究会第12期技術セミナー
研究部会収益	1,500,000	1,500,000	0	第22回研究部会連合発表会参加費(過年度実績をもとに計上)
著作権料	500,000	500,000	0	学術著作権協会、近代科学社、科学技術振興機構
雑収益	20,000	1,000	19,000	普通預金利息、定期預金利息など(利率上昇に伴い増額)
経常収益計	24,922,250	22,549,750	2,372,500	
(2) 経常費用				
事業費	16,236,000	13,286,000	2,950,000	
応用数理刊行事業費	6,470,000	5,020,000	1,450,000	
委託費	2,200,000	2,200,000	0	応用数理35巻2-4号・36巻1号分編集業務委託経費、J-STAGE経費(国際文献社)
会議費	20,000	20,000	0	
印刷製本費	3,550,000	2,300,000	1,250,000	応用数理35巻2-4号・36巻1号分(4号分)(国際文献社)(見積より予算計上)
諸謝金	700,000	500,000	200,000	応用数理35巻2-4号・36巻1号分原稿料(過年度実績をもとに計上)
論文誌刊行事業費	400,000	400,000	0	
委託費	400,000	400,000	0	論文誌35巻2-4号・36巻1号分オンライン査読システム使用料、J-STAGEアップロード作業(三秀舎)
JSIAM-Letters刊行事業費	1,166,000	1,166,000	0	
委託費	1,166,000	1,166,000	0	JSIAM-Letters編集業務委託費、J-STAGE経費(国際文献社)、J-STAGE投稿審査システム利用料
JSIAMOnlineMagazine刊行事業費	0	1,000,000	△ 1,000,000	JSIAM Online Magazine更新停止のため
委託費	0	900,000	△ 900,000	
諸謝金	0	100,000	△ 100,000	
年会事業費	6,000,000	3,500,000	2,500,000	2025年度年会開催経費(過年度実績をもとに計上) 内委託費約2,200,000円(国際文献社)
セミナー事業費	200,000	200,000	0	ものづくり研究会第12期技術セミナー、異分野・異業種研究交流会等
研究部会事業費	2,000,000	2,000,000	0	第22回研究部会連合発表会開催経費(過年度実績をもとに計上)
管理費	9,288,500	8,675,000	613,500	
JJIAM購入費	300,000	300,000	0	JJIAM賛助頒布分購入費(Springer)
活動促進費	100,000	100,000	0	男女参画分担金、学会賞関係費用、広報関係費用等
関連団体等会費	190,000	190,000	0	横幹連合50,000円、理論応用力学20,000円、ICIAM会費USD800.00(円安傾向を考慮して計上)
保守費	1,850,000	1,550,000	300,000	GoogleCloudService使用料34,000円×12カ月、AmazonWebService使用料115,000円×12カ月、ホスティングサービス料6,160円×12カ月(過年度実績をもとに計上)
事務委託費	5,968,500	5,735,000	233,500	
委託費	4,000,000	4,220,000	△ 220,000	4-3月分業務委託費3,800,000円、選挙関連委託費200,000円(国際文献社)(過年度実績をもとに計上)
HP関係費	1,023,500	600,000	423,500	WEB保守費49,500円×12カ月、英語対応費用(想隆社)
印刷製本費	115,000	115,000	0	4-3月分封筒代100,000円、コピー代実費15,000円(国際文献社)
通信運搬費	800,000	750,000	50,000	4-3月分発送手数料・送料250,000円、学会誌4号分発送手数料・送料550,000円(国際文献社)(送料値上げによる増額)
消耗品費	30,000	50,000	△ 20,000	4-3月分賞状用紙代等(国際文献社)(過年度実績をもとに計上)
会議費	250,000	250,000	0	Zoom使用料等
雑費	300,000	300,000	0	各種手数料(振込手数料・みずほファクター手数料・クレジット決済手数料等)
租税公課	100,000	0	100,000	消費税暫定
法人関連経費	230,000	250,000	△ 20,000	監査対応報酬(AtaGO税理士法人)110,000円、登記変更費用50,000円、都民税均等割り70,000円
経常費用計	25,524,500	21,961,000	3,563,500	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 602,250	588,750	△ 1,191,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 602,250	588,750	△ 1,191,000	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 602,250	588,750	△ 1,191,000	
一般正味財産期首残高	47,607,312	47,018,562	588,750	
一般正味財産期末残高	47,005,062	47,607,312	△ 602,250	
II 正味財産期末残高	47,005,062	47,607,312	△ 602,250	

収支予算案

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
国際交流事業収益	0	200,000,000	△ 200,000,000	
雑収益	100	100	0	普通預金利息
経常収益計	100	200,000,100	△ 200,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	0	195,700,000	△ 195,700,000	
国際交流事業費	0	195,700,000	△ 195,700,000	
委託費	0	195,000,000	△ 195,000,000	
表彰関係費	0	700,000	△ 700,000	
雑費	0	0	0	
経常費用計	0	195,700,000	△ 195,700,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	100	4,300,100	△ 4,300,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	100	4,300,100	△ 4,300,000	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	100	4,300,100	△ 4,300,000	
一般正味財産期首残高	11,800,053	7,499,953	4,300,100	
一般正味財産期末残高	11,800,153	11,800,053	100	
II 正味財産期末残高	11,800,153	11,800,053	100	

収支予算案

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
雑収益	0	300	△ 300	定期預金解約のため
経常収益計	0	300	△ 300	
(2) 経常費用				
事業費	0	500,000	△ 500,000	
稲盛財団基金事業費	0	500,000	△ 500,000	
支払寄付金	0	500,000	△ 500,000	
経常費用計	0	500,000	△ 500,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 499,700	499,700	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 499,700	499,700	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 499,700	499,700	
一般正味財産期首残高	2,500,913	3,000,613	△ 499,700	
一般正味財産期末残高	2,500,913	2,500,913	0	
II 正味財産期末残高	2,500,913	2,500,913	0	